事業完了報告書

提出日：2023 年 3 月 29 日

1．事業概要

（1）実行団体名：Rennovater 株式会社
（2）事業名：空き家等の築古物件を活用した住宅困難者への住宅供給事業
（3）事業実施期間：2020 年 11 月 5 日～2023 年 3 月 31 日
（4）資金分配団体名：一般財団法人社会変革推進財団

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（1）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑ 完了　／　☐ 整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
(2)　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☐ 全て公開した　／　☑ 一部未公開　／　☐ 未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。 競合との競争にさらされている営利企業であるため、資金分配団体と相談の上、「休眠預金等活用における実行団体としての業務ガイドライン」を公開しています。一方で、資金分配団体への規程類の共有は行われています。
(3)　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐ 変更があり報告済　／　☐ 変更があったが未報告　／　☑ 変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

(1)　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑ はい　／　☐ いいえ

→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
(2)　内部通報制度は整備されていますか。
□　はい　／　☑　いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） □　内部に窓口を設置 ／　□　外部に窓口を設置 ／　☑　JANPIA の窓口を利用
(3)　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑　はい　／　□　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
(4)　関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑　はい　／　□　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
(5)　コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑　はい　／　□　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
(6)　ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑　はい　／　□　いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 実行団体となったことを受けて、新たにコンプライアンス規程を整備ました。
(7)　報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。（実施予定の場合を含む）
☑　外部監査　／□　内部監査　／　□　実施予定もない　※（複数選択可）
→上記で「外部監査」または「内部監査」を選択した場合、その実施者を記載してください。

2021 年 5 月～2022 年 4 月期 実施者：監査役　小笠原由佳
(8)　本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
□　はい／　☑　いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☑　自団体のウェブサイトで表示している　／　☑　広報制作物に表示している □　報告書に表示している　／　□　イベント実施時に表示している □　その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	有	NHK「おはよう京都」2022 年 6 月 20 日放送 NHK「おはよう関西」2022 年 7 月 20 日放送 NHK「クローズアップ現代」2022 年 9 月 20 日放送 読売テレビ「情報ネット ten」2023 年 1 月 31 日放送 日経 BP「未来コトハジメ」2023 年 2 月 28 日掲載 住居の確保が困難な人すべてに、安心できる家を　超空き家時代に広げる「アフォーダブル・ハウジング」の思想｜未来コトハジメ(nikkeibp.co.jp)
広報制作物等	有	Rennovater 株式会社｜「すべての人に、こころ休まる住まいを」
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

- 当初、住居の満足度が生活の満足度につながると考えたが、 アンケート結果などを分析すると、住居満足度よりも経済状況が重要であるように感じられる。長引くコロナ不況や物価上昇に伴う家計の状況については、当社で支援できる範疇を超えており、行政や他の関係機関との連携が必要である。
- 公的支援として行政がやるべきことは、民間だけではカバーできない部分がある。また、発達障害等のグレーゾーンと呼ばれるような公的支援から漏れる層が生活困窮者となり、自立や日常生活に困難を抱える場合が多くある。そのような場合に行政の横のつながりや官民連携がより求められることになり、適切な役割分担が必要となる。その部分を民間に委ねると過度なリスクになることが多く、公的支援にも柔軟さが発揮できない場合、困難を抱える当事者の状態を改善することが難しい。
- 経済学には、「政府の役割の一つは市場の失敗に対して介入（フォロー）すること」と学ばれているが、現代社会においては、政府や民主主義の失敗が多くあり、それを企業（市場）がフォローする場合も起きていると感じている。当社は、生活困窮者等の住宅確保困難者のためにあるはずの公営住宅が機能せず、当事業によって少しでもフォロー（カバー）するものであると認識している。休眠預金の活用は、政府や民主主義の失敗によって起こっている社会課題を解決する事業にこそ、活用してもらいたい。

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　5 枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）

それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

（説明）
賃貸物件のリフォーム前

（説明）
賃貸物件のリフォーム後